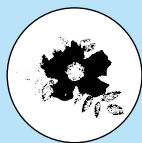
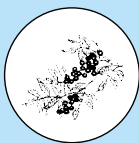


おこっぺ



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

議会だより

第158号

令和2年2月14日

発行／☎098-1692紋別郡興部町旭町興部町議会

TEL (0158) 82-2135
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会



2020 新春ちびっこギネスに挑戦

第4回町議会定例会 P2～4

町政ここが聞きたい!! P4～8

議員活動報告・編集後記 P8

令和元年第4回 町議会定例会のあらまし

令和元年第4回定例会は、12月13日(金)開会され、町長の行政報告、議案14件が審議されました。

町長行政報告

消防職員の飲酒運転

社会全体が飲酒運転の根絶に取り組んでいる中で、この度、興部支署の職員が非番からの出勤であったとは言え、公務中に酒気帯び状態で緊急車両を運転したことは誠に遺憾であり、深くお詫びを申し上げる次第です。

今後は、消防行政に対する信頼を一日も早く回復させるため、法令遵守の徹底は勿論のこと、消防職員としての責務の重さを十分に自覚し、消防の使命達成のため組織一丸となって取り組んでいきます。

次期地方版総合戦略

興部町の総合戦略につきましては、第1期の計画が平成27年度から5箇年の計画であるため、平成31年度(令和元年)をもって終了します。次期の総合戦略の

策定について、国からは切れ目のない取り組みを推進するため、早期の計画策定を求められていますが、町としては12月に策定される予定であります国の総合戦略に基づき、今年度中に現行の地方版総合戦略を検証したうえで、次期総合戦略の方向性を定め、計画の策定に取り組んでいきます。

令和2年度の興部 高校への志願状況

11月中旬から下旬にかけて、興部中学校において三者面談が行われました。来年3月における卒業予定者は27名ですが、現在のところ、興部中学校から11名、近隣の市町村からは3名の合計14名が興部高等学校への入学を希望しています。地元高校存続のため、一人でも多くの生徒が興部高等学校へ入学するよう期待をしています。

中央公民館耐震補強・ 内部改修工事の進捗状況

中央公民館耐震補強・内部改修工事は、内装材等へのアスベスト付着による除去作業の追加等により行程の見直しが必要となったため、工期の延長も含め検討しています。公民館を利用されている町民の皆様には、しばらくの間、引き続きご不便をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いします。



農作物の作況

牧草については、一番牧

草では、5月中旬から6月上旬まで小雨傾向にあったものの、草丈は平年並みとなりましたが、分けつ数は少なく、密度が低くなったため、収量は平年に比べて1〜2割程度の減収になりました。二番牧草においては、一番牧草の収穫が順調に進み、その後の天候にも恵まれたことで、収量は平年並みとなりました。

一番、二番牧草それぞれ調整されたサイレージの品質については、現在開封されたサイレージを順次調査しています。

また、飼料用トウモロコシについては、牧草同様に天候の影響を受け、平年の草丈240cmに対し、平均で220cmとやや低く、収穫量は平均値で反当り4・8tに対し本年は3・8tと少ない結果となりました。

生乳生産の状況

生乳生産量は、11月末現在、前年同期をやや下回

り、前年対比99・4%の4万9千498t、計画対比で96・1%となっています。

林業関係の状況

本年度予定していました造林地の下刈、沙留地区保安林及び富丘地区の植栽事業は全て完了しています。今後は、朝日地区の皆伐工事を発注する予定です。

漁業生産の状況

11月末現在、全体の水揚げ量は、前年同期比4千520t増の1万9千820tで、前年同期比30%の増です。

主なものについては、サケ定置網漁業は11月30日に終漁し、前年同期比53t増の1千80tとなりました。

一方、ホタテ漁は11月28日に終漁し、漁獲量は前年対比47%増の1万8千863tで、計画対比では39%の増となり、過去4番目に高い漁獲量となりました。

また、昨年は不漁であり

ました底建網漁業は、イカなどの水揚げ増により前年同期比833%増の1千400tの漁獲量でした。

バイオマス事業に係る取り組み

西紋5市町村と湧別町との連携による、環境省所管事業の「地域の多様な課題に応える脱炭素型地域づくりモデル形成事業」の実施に向けて、11月7日に北オホーシク地域循環共生圏構築協議会を設立しました。

協議会の構成には6市町村のほか、北海道、学識経験者として帯広畜産大学、北海道大学、並びに各市町村の農林水産商工業等の業界団体・経済団体及び自治会等の住民団体を委員に迎え、オブザーバーとしてオホーシク総合振興局をはじめ、北海道電力株式会社など各団体の参画をいただき、興部町が事務局を担当し、協議会を運営していきます。

ます。

なお、調査業務は、バイオマスリサーチ株式会社に委託し、今後、豊富な地域循環資源を有する北オホーシク地域において、再生可能エネルギーを活用した低炭素で持続可能な社会の構築を図るための構想の策定と、その実現に向けて取り組んでいきます。

専決処分を承認した案件

令和元年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第1号)

補正額は43万円を追加し、歳入歳出それぞれ48億8千539万7千円とし、原案どおり可決した。

補正内容は、町営スキー場リフト原動機故障に伴う修繕料の増額。

一般会計補正予算(第5号)

補正額は、1億9千78万

4千円を減額し、総額46億9千461万3千円とし、原案どおり可決した。

歳出の主なもの

○エネルギー地産地消事業
化モデル支援事業
2千640万円減

○興部秋里間道路改築事業
1億3千405万4千円減

○中央公民館耐震補強・内部
改修建築主体工事請負費
1千15万円増

○職員の退職等に伴う職員
人件費
3千420万円減

特別会計補正予算

特別会計4会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

○興部町国民健康保険事業
特別会計補正予算

(第3号)

補正額は、11万円を追加し、総額5億9千765万円とした。

補正内容は、国民健康保険制度改正対応システム改

修業務委託料、一般被保険者療養費の増額等。

○興部町介護保険事業特別会計補正予算

(第4号)

補正額は、1千763万円を追加し、総額3億2千626万円とした。

補正内容は、介護サービス等諸費に係る福祉用具購入、住宅改修費の増額及び給与改定に伴う職員人件費の増額等。

○興部町簡易水道事業特別会計補正予算

(第2号)

補正額は、207万円を増額し、総額2億7千401万円とした。

補正内容は、給与改定に伴う職員人件費の増額、水道施設設備等の修繕費の増額及び各工事請負費の入札執行残の減額等。

○興部町公共下水道事業特別会計補正予算

(第1号)

補正額は、276万円を減額し、総額3億851万円とした。

補正内容は、職員の中途退職に伴う職員人件費の減額。

制定された条例

○興部町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

改正された条例

○町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
○特別職の給料、報酬及び旅費並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

その他議決された案件

○オホーック町村公平委員会規約の一部変更
○興部町福祉保健総合センターのうち老人デイサービスセンター及び高齢者生活支援ハウス部門の指定管理者の指定
○公有水面埋立

意見書の採択

○「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに、「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める意見書

提出者 竹内 清 議員
賛成者 前田 義雄議員
賛成者 小泉 優子議員
賛成者 佐藤 吉春議員
賛成者 矢野 幸三議員
疾患や受診科目による制限のない妊産婦に対する医療費助成制度を国の制度として早期に実現すること。福祉医療費助成を現物給付としている市町村に対する国民健康保険国庫補助金の削減措置については、これを全て廃止することを求める意見書を提出。

町政ここが聞きたい!!

問

市街地区の街路灯の電気料を町で!!

前田 義雄 議員

答

管理組合の要請があればすべき事はしていく

碓 一寿 町長



前田議員

市街地区の街路灯の維持管理は、昭和56年に商店を中心に125の組合員で街路灯管理組合を設立、計69灯を管理している。しかし商店の閉店等で現在の組合員は45名と激減している。更に平成2年に導入された国の省エネ再生法により賦課金の負担が、当初、年間2万円位だったのが30年度では20万円位になっている。今後も減る組合員、増える賦課金で電気料すら払えなくなる状況である。組合員の負担46万5千円、

町負担（公共施設関連）分24万2千円、町補助57万7千円の128万円強の収入で、支出は電気料だけでも131万円であり、組合員だけでも年間1万円位負担している。今迄は繰越金で支払ってきたが、今後は支払えない。

近隣の雄武町、滝上町では商店街の環境美化等で全額町が負担し組合員負担はないという。町として他町村同様、全額負担する考えはないか？

碓町長

市街地区の街路灯の維持管理は組合で行い、それに補助している形である。

担当部局には話が入っているらしいが組合からは正式な要請が届いていない。担当課と組合が協議し、判断、指示していきたい。

前田議員 要請書の提出等のやり取りが必要と思うが、このままでは電気料すら払えない。是非検討を。

碓町長 街路灯の修繕、部品が落下し歩行者等に被害を与えた場合など、当事者は街路灯組合となり責任問題も出てくると思う。

電気料の問題も切実で他の町でも全面的に町で持っているという形に聞いているし、我々もそういう形になると認識している。組合の責任者と早急に話をし、内容を精査し、すべき事はしていかなければと考えている。

前田議員 昭和56年の設置であり損傷も目につく。そこで、バイオマス発電の先進地としてエネルギーの地産地消が視野にある町長として、発電された電力を街路灯に利用する形の新しい街路灯更新事業を進める考えは？

また、商店街もシャッター通り、空き地通り化しているが、一方でアパート等も建てられ町の形態も変わっ



てきている。夕張市や紋別市等は、コンパクトシティ構想等により新しい町の形態づくりに取り組んでいる。

我町は名寄線跡地を中心に道の駅・郵便局・病院・農協・信金・スーパー等が集約され新しい形が出来てきている。新しい町の形態、あり方を示し、その上で街路灯の更新等を考える必要があるのではないか？

碓町長 38年経っているので私も危惧している。更新を行うとすれば予算を組む、今の街路灯の規模が必要を含め検討したい。

電源としてのバイオマス利用は「循環共生圏」の考え方で地域の資源を活用して電気を興し利用する形なので理屈としては利用方法も

あると思うが、先進事例をみるとソーラー型の街路灯は災害対策上も電気を利用しないのだが、価格の関係もあるので、早急に整備が

必要か等も含め、検討していきたい。

問 通学路で利用されている町道に防犯灯を

前田義雄議員

答 今後の生徒通学状況を踏まえて進めていきたい

畑山研二教育長

前田議員 春日町で小中学生が通学路として利用している町道に長い距離、街灯が設置されていない所がある。

最近、児童生徒を巻き込んだ事件が増え、先日も学校運営協議会、教育委員会が「子供の見守り」について全町民に協力要請した。「通学路」として利用されている町道に街路灯、防犯灯がないのでは「安全を守る」という観点から問題があるのではないか？

畑山教育長 近年、児童生徒が被害者となる事件が多発している。教育委員会としても、登下校時の子供の安全確保の取り組みを進めている。通学路の危険個所の点検や警察・学校、教育委員会等、行政と学校、地域も連携して進めている。

通学路の照明設置は、適宜必要な個所への整備を町の方で行ってきている。指摘の所は、今後の生徒の通学方向等の状況を考え、関係部所と協議をしていきたい。



問 人口減少対策及び子育て対策について

佐藤吉春議員

答

不妊治療対策は全て町の政策として取り入れ、
トータルで子育て支援をしていく

碓 一寿町長



のケアを図る」としている
が具体策はどこまで進んで
いるかお聞きします。

碓町長

平成28年2月策
定の総合戦略で、人口減少
に対する子育て支援として

佐藤議員

住宅建設の取組

関係は、来年4月から進め
たい。また、産後デイケア
事業など、安心出産できる
よう支援を進めていきま
す。

碓町長

雄武町の事例も

ん。人口減少と少子化対策
については、東川町の不妊
治療助成の成功事例を取上
げ、以前に一般質問してお
ります。しかし現在は男性
の4人に1人が無精子症と
言われており、男性不妊治
療は、女性の3倍ほどの費
用がかかると言われます。
男性の不妊治療に対しても
助成する考えはありません
か。

佐藤議員

町政執行方針

で、「これまで取り組んで
きた少子化対策や住宅施策
の成果が出ていない」と仰
っていました。これについ
て何時からどのような対策を
したのか。次に町内で不足
している「介護、保健、医
療職に加え、幼児教諭や保
育士などの資格を持った人
材を確保する」と言ってい
ましたが、どのような手段や
方法で実施しているのか。
また、「妊娠出産期におけ
る不妊治療の支援や、産後

マス事業の検討、観光協会
を法人化して観光戦略を進
め、また酪農家の大型支援
をして雇用増を進めてきま
したが、成果の見えていな
いということ、来年3月
まで何に効果が出ているの
か、出ていないのか見極め
たい。次に専門資格職の介
護職については2名の採
用。保健師については成果
が出ていない。不妊治療の

等お答えをいただきました
が、雄武町の例をだすと一
期5年間「H23年から27年」
での補助金総額は2億5千
2百80万円で、経済効果は
15億4千9百70万円と出て
おり今も続いております。
西興部村では、上限百万円
+村の指定色+子供一人50
万円、最高2百50万円の
補助を受けた方がいると聞
いております。これと比べ
ると5年10年と先を見据え
たインパクトのある施策が
大事で、興部町は今始まっ
たばかり、効果など全然期
待出来るわけがありません

す。
中でも、トータルで子育て
支援を行っていく予定です。
事業というのはあります。
町内に産科医療機関がない
ため、遠方の産科医療機関
へ通うお産前14回、お産後
1回までの交通費相当額、

議会の動き

令和元年11月15日以降

11月21日 西紋地区衛生組
合議会運営委員

会

23日 勤労収穫感謝祭

24日 沙留保育所お遊
戯会

28日 ホタテ貝切上直
会

12月1日 紋別市議会議長
柴田央氏追悼式

4日 議会全員協議会

10日 議会運営委員会

13日 第4回議会定例
会

17日 広報特別委員会

18日 歳末特別警戒商
店・飲食店等訪
問

18日 広域紋別病院企
業団第2回臨時
会

19日 遠紋地区事務局
長会議

21日 丸瀬布遠軽道路

遠軽瀬戸瀬IC
遠軽IC開通



温度管理については、職員が適切な温度管理をしますが、委託側にも適切な管理を伝えます。又使用料については、ご指摘のあった点も含め検討いたします。

佐藤議員

機械の使用方

法については、そんなに多くはないと思います。他の施設では、初心者の方には職員が使い方を全て教える。又は使い方を記載したパンフレットを備えておく。といった方法を取っているようで、その様な方法を検討して頂きたい。

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義

12月4日、13日協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行った。

12月4日

○専決処分について

○興部町中央公民館耐震補強・内部改修工事における補正予算等について

○人事院勧告に基づく給与改定の実施について

○会計年度任用職員制度について

○次期地方版総合戦略について

○沙留中学校の敷地売却について

○（仮称）興部町社宅等整備奨励補助金交付事業について

○北オホーツク地域循環共生圏構築事業について

○バイオマス関連事業の補正予算について

12月13日

○固定資産税賦課業務に係る経過報告について

議会運営委員会

委員長 竹内 清

12月10日、13日委員会を開催し次の事項について審議した。

12月10日

○令和元年第4回議会定例会の運営について

12月13日

○令和元年第4回議会定例会の運営について

編集後記

令和になり初めての新春を迎え、町民の皆様にはご健勝にて新年を迎えられましたことに心よりお喜び申しあげます。

今年はお・も・て・な・しから始まった東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。特にマラソンの開催場所が急転直下、北海道札幌市に決まったことで、北海道では、昨年のラグビーワールドカップ以上に盛り上がることを思われます。

今年の干支は十干が「庚」、十二支が「子」で、「庚子（かのえね）」です。表す意味は、新たな芽吹きと繁栄の始まりです。つまり非常に冷静なひらめきと行動により新しく始めることがとてもうまくいくなと言われています。また、ねずみは五穀豊穡の神「大黒様」の使いと言われ商売繁盛の年とも言われています。



私たちも今年の干支にあやかり町が、さらに発展するように頑張りたいと思います。

（記）広報特別委員会

委員 阿部 昭二

広報委員長 鈴木 精一

副委員長 藤渡 昭博

委員 佐藤 吉春

委員 阿部 昭一

委員 竹内 清

議会事務局長 斉藤 英之

議会事務局補 佐藤 麗華